

中国（上海）ビジネスサポート

Monthly China News

*毎月1回、定期的に中国より配信致します。

【政治・経済】

- **第14期全人代第2回会議が閉幕 習近平氏ら党・国家指導者が出席**：第14期全国人民代表大会（全人代）第2回会議の閉幕式が北京時間11日午後3時、北京の人民大会堂で行われ、習近平氏ら党・国家指導者が出席した。会議では政府活動報告や全人代常務委員会活動報告などが承認されたほか、改正国務院組織法が可決され、習近平国家主席による第21号主席命令への署名を経て公布された。会議には出席すべき代表2,956人のうち2,900人が出席し、56人が欠席。出席人数は法定数を満たした。（3/11 人民網）
- **習近平総書記の全国両会后初の地方視察が伝えた重要なメッセージ**：全国両会が閉幕してからわずか1週間後の3月18日、習近平総書記が湖南省を視察した。視察初日、習総書記は湖南第一師範学院（城南書院キャンパス）と巴斯夫杉杉電池材料有限公司（BASF Shanshan）を訪れた。全国両会で習総書記は「主要技術・コア技術の難関攻略に力を尽くし、新たな質の生産力を発展させる新たな原動力を培う」「科学技術革新と産業革新を統合的に計画・推進し、科学技術の成果の事業化応用を強化する」必要性を強調した。全国両会后、習総書記は科学技術革新の活発な企業を訪れ、実際に視察することで、科学技術革新によって産業革新を推進し、新たな質の生産力の育成と発展を加速するというメッセージを伝えた。19日、習総書記は湖南省常德市の農地を訪れ、春耕の準備状況を視察した。「食糧安全保障の主導権をしっかりと掌握し、食糧生産に毎年力を入れる必要がある」。習総書記は、国家は食糧の基本的自給に立脚してこそ、食糧安全保障の主導権を真に掌握し、さらにはリスクに対処する底力を持ち、国家の安全、社会の安定、国民の幸福を確保する能力を持つことができるということを、明確に認識している。（3/20 新華社、人民網）
- **習近平総書記「中部地域の台頭をより高い起点から着実に推進」**：習近平総書記は20日、湖南省長沙市で新時代における中部地域の台頭推進に関する座談会を開き、重要談話を発表した。習総書記は「中部地域は我が国の重要な食糧生産拠点、エネルギー・原材料拠点、現代設備製造及びハイテク産業拠点、総合交通運輸ハブであり、全国では重要な戦略地位にある。中部地域の台頭推進に関する党中央の一連の政策措置の貫徹・実行に一貫して力を入れ、質の高い発展を推進するよう力を合わせ、中国式現代化を進める中で中部地域台頭の新たな章を記す必要がある」と強調した。（3/21 新華社、人民網）
- **李強総理が中国発展ハイレベルフォーラムで基調演説**：李強総理は24日、北京で中国発展ハイレベルフォーラム年次総会の開幕式に出席し、基調演説を行った。「過去1年、習近平氏を核心とする中共中央の強固な指導の下、我々は外的圧力に耐え抜き、内的困難を克服し、年間の経済・社会発展の主要な目標と任務を首尾よく達成した。経済の回復・好転基調は揺るぎなく強固なものになり続け、新産業、新モデル、新原動力の成長と強大化が加速しており、強靱性に優れ、潜在力が大きく、活力に満ち、長期的に好転するという中国経済の基調に変わりはない」と指摘し、更に「グリーン・トランスフォーメーション（GX）を推進し続け、環境優先、グリーン発展の道を確認として揺るぎなく歩んで行く。様々なリスクに対し個別対策と抜本的対策を兼ね備えた防止・解消策をしっかりと行い、中

国経済の長期にわたり持続的で健全な発展を推進する」と表明した。(3/25 新華社、人民網)

【製造業関連・関連の政策等】

- **中国 2月のCPI、前年同期比0.7%の上昇**：国家統計局が9日に発表したデータによると、今年2月の全国の消費者物価指数（CPI）は1月の前年同期比0.8%の低下から同0.7%の上昇に転じた。前月比は1.0%の上昇で、上昇幅は1月より0.7ポイント拡大した。2月の食品価格は前年同期比0.9%の低下、低下幅は1月より5.0ポイント縮小した。食品のうち、豚肉価格は9ヶ月連続の低下からはじめて上昇に転じて、同0.2%上昇した。生鮮野菜は1月の12.7%の低下から2.9%の上昇に、水産物は1月の3.4%の低下から4.1%の上昇に転じた。2月は非食品価格が同1.1%の上昇で、上昇幅は前月より0.7ポイント拡大した。そのうち、サービス価格は前年同期比1.9%の上昇で上昇幅は1.4ポイント拡大し、CPIを約0.76ポイント押し上げた。うち、旅行価格は同23.1%の上昇、航空券価格は同20.8%の上昇、交通機関のレンタル料金は17.4%の上昇だった。(3/10 人民網)
- **中国 1-2月の自動車生産台数が前年同期比8.1%増、販売台数が同11.1%増に**：中国自動車工業協会が11日、「今年1-2月には、中国の自動車生産台数が前年同期比8.1%増の391万9,000台、販売台数が同11.1%増の402万6,000台だった。また、1-2月の中国の新エネルギー自動車の生産台数は同28.2%増の125万2,000台、販売台数は同29.4%増の120万7,000台となり、市場シェアは30%に達した。」と発表した。(3/12 人民網)
- **中国 2024年1-2月の社会消費財小売総売上高が5.5%増**：国務院新聞弁公室が18日に開いた2024年1-2月の国民経済運営状況に関する記者会見で、国家統計局の劉愛華報道官は、「1-2月には、社会消費財小売総売上高が前年同期比5.5%増の8兆1,307億元（1元は約20.7円）に上り、前月比では、2月の社会消費財小売総売上高が0.03%増となった」と述べた。(3/19 人民網)
- **広西の「新・三種の神器」が海外進出**：新エネルギー産業の急速な発展に伴い、広西壮（チワン）族自治区では「新・三種の神器」（電気自動車、リチウム電池、太陽電池）製品の輸出が持続的に増加し、貿易の新たな目玉となっている。統計によると、2023年に広西の「新・三種の神器」製品の合計輸出額は前年の2.9倍の155億7,000万元（1元は約20.7円）に達し、広西の輸出成長率を2.8ポイント押し上げた。広西の「新・三種の神器」製品は主に民間企業や外資系企業が輸出しており、EU、ASEAN、インドが3大輸出先となっている。このうち、電気自動車は主にEU、リチウム電池は主にインドに、太陽電池は主にASEANに輸出されている。(3/19 人民網)

【トピックス】

- 1、**中国 2023年の半調理品市場の規模は5,165億元**：第2回中国国際（仏山）半調理品産業大会が15日、広東省仏山市で開幕した。同大会で発表された「2023年中国半調理品産業発展青書」によると、23年の中国の半調理品市場の規模は前年比23.1%増の5,165億元（1元は約20.7円）に上り、26年は1兆720億元を超える見込みという。中国の半調理品メーカーは沿海部に多く分布し、山東省、河南省、広東省、江蘇省の企業数が多く、平均6,000社以上になる。同大会で発表された「半調理品海外進出ガイド」によると、商品の種類を見ると、海外の消費者には主食類の半調理品、例えば春巻、点心、包子（中華まん）などが最も人気だ。次いで魚やエビなど水産物を使った半調理品、そして、トリ類の半調理品が人気だ。米国、ドイツ、東南アジア諸国では半調理品へのニーズが高く、中国系の人々の海外居住地の分布と大きく重なる。(3/18 人民網)

- 2、5G普及率が50%超に 「デジタル中国」は勢いよく前進：「5Gユーザー普及率が50%を超えた」。
今年の「政府活動報告」で言及されたこの成果は、多くの人の注目を集めた。国際的な携帯電話通信業界団体GSMアソシエーション(GSMA)のシンクタンクが2021年に、中国の5G普及率は25年に50%を超えると予測しており、中国は2年も前倒しで達成したことになる。(3/20 人民網)
- 3、中国1-2月の宅配便取扱個数、前年同期比28.5%増の232.6億個：国家郵政局は20日、発表された今年1-2月の中国郵政業界の運営データにより、同期の中国郵政業界の配達業務量は前年同期比25.1%増の262億6,000万個に達した。そのうち宅配便取扱個数は同28.5%増の232億6,000万個だった。東部、中部、西部地域における宅配便業務の割合はそれぞれ、72.9%、18.5%、8.6%となっている。国家郵政局発展研究センター戦略計画研究部の劉江主任は、「今年に入ってから、郵政業界はサービス保証能力を持続的に向上させ、インフラ建設の取り組みを強化することにより、市場規模が急速に拡大し、サービスを提供するシーンが日増しに豊富になった。3月の郵政業界は引き続き着実な成長を遂げる見込みだ」と述べた。(3/20 人民網)
- 4、中国2月のゲーム市場の売上高、前年同期比15.12%増の248.75億元：中国音響映像・デジタル出版協会(CADPA)ゲーム出版活動委員会は20日、微信(WeChat)の公式アカウントを通じて、2024年2月の中国ゲーム産業月次報告書を発表した。それによると、24年2月に中国ゲーム市場の売上高は前月比2.17%増、前年同期比15.12%増の248億7,500万元(1元は約20.7円)に達した。中国独自開発ゲームの海外市場での実際の売上高は前月比3.44%増、前年同期比8.69%増の13億4,600万ドル(1ドルは約150.7円)に上った。また中国のエレクトロニック・スポーツ(eスポーツ)市場の実際の売上高も好調な増加傾向を示して、前月比3.82%増、前年同期比17.75%増の127億2,200万元に達した。(3/21 人民網)

【中国キーワード】

新たな設備更新が幕開けへ

2024年「政府活動報告」は、各種生産設備とサービス設備の更新・技術革新を促進し、消費財の買い替えの奨励と促進を行うとしている。

中国国家発展改革委員会の鄭柵潔主任は3月5日、第14期全人代第2回会議の経済をテーマにした記者会見において、「質の高い発展が踏み込んで推進されるにつれて、設備更新の需要が拡大し続けている。現時点で、5兆元(1元は約20.7円)以上の巨大市場になると試算されている」と発表した。

中国国務院は13日、「大規模な設備更新と消費財の下取り推進行動案」(以下、「行動案」)を正式に発表した。「行動案」は6つの面に関して計20項目を挙げており、2027年をめどに、設備投資規模と環境保護の成果、工業企業のデジタル化のほか、廃車回収量といった面で具体的な目標を制定し、財政や税収、金融政策サポートといった面における計画を立てている。

新たな設備更新は、どのような産業に積極的な波及効果をもたらすのだろうか?この点について、北京社会科学院の王鵬副研究員は以下の5つの業界に集中するだろうと指摘している。

- 設備製造業
- 部品・サービス業
- 物流・運輸業
- 環境保護・回収業
- 金融・保険業

発表された「行動案」を見ると、今回の設備更新は、消費エネルギー削減と効率向上を方向性として展開し、「ハイエンド化、スマート化、グリーン化、デジタル化」をポイントとし、さらに優れた

形で新たな質の生産力を生み出すことにつながる事が分かる。新たな質の生産力は、大規模な発展と新型生産設備の応用促進という重要な結果を生み出すというのが醍醐味で、総要素生産性（TFP）が高まり、設備更新は最先端設備のさらなる推進と応用にもつながる。中信証券の研究報告は、「設備更新と下取りは、内需拡大の重要な糸口となり、新たな質の生産力推進と互いに補完し合うことができる」との見方を示している。（3/18 人民網）

【イベント】

【来場募集中】 FBC 上海 2024in NEPCON 電子工業展 2024 年 4 月 24-26 日 上海世博展覽館

【出展募集中】 FBC 上海 2024in PTC 伝動展 2024 年 11 月 5-8 日 上海新国際博覧中心

*（公財）大阪産業局上海代表処は FBC ものづくり商談会の共催団体になっています。特別価格で出展可能です。

大阪産業局上海代表処 中国（上海）ビジネスサポート
ファクトリーネットワークチェーン （工場網信息科技有限公司）

上海市長寧区延安西路 2201 号 上海国際貿易中心 2 階 268 室